

令和3年度 和食文化継承の人材育成等事業
モデル授業実施後アンケート（児童）
実施校：横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校 4年

調査対象	モデル授業を受講した児童
調査方法	記名式アンケート
調査期間	令和3年12月22日（水）～令和4年1月18日（火）
有効回答者数	34名 *システム不具合の為、1名分集計不能
回答者数	35名

1. 調査結果のポイント

(1) 児童は和食を普段から身近に感じている。（設問1・2）

児童の73.5%(25名)が、和食を身近なものであると回答。また、モデル授業を受ける前の和食に対するイメージは、「歴史がある」「健康によい」「栄養バランスの良さ」「季節を感じられる」「旬のものがおいしく食べられる」というプラスのイメージがある一方で、「古いイメージ」「地味」というマイナスのイメージも持っている。

(2) モデル授業を受けた後、和食に対するイメージの変化が見られる。（設問3・4）

モデル授業後、和食のイメージが変わった生徒が全体の79.4%(27名)となった。モデル授業実施後のアンケートでは、素材の美味しさが味わえる（14名→21名）、旬のものが美味しく食べられる（15名→23名）、健康に良い（21名→26名）などの項目で変化がみられた。児童が和食の特徴を理解したことにより、地味（4名→0名）、古いイメージ（19名→9名）などマイナスのイメージが改善された。

(3) 和食がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを知る児童は、13名(38.2%)にとどまる。

（設問5）

ユネスコ無形文化遺産登録を「知らない」61.8%（21名）が「知っている」38.2%（13名）を上回っている。保護者アンケートの結果においても、半数以上（34名中18名）が「知らない」と回答しており、平成25年のユネスコ無形文化遺産への登録から9年経過していることから、児童、親世代への情報発信が必要である。

(4) モデル授業を受けた後、日々の食事で和食を食べたいという児童が増加。（設問7・8）

「もっと和食の盛り付けの美しさや、季節などを感じてみたい。」「日本の大切な文化だから。」「健康に良いし、見た目も素敵で、日本で守らなければいけない食文化だから。」など和食の特徴や良さを再認識したことにより、児童の和食への関心が高まった。

(5) 和食文化がSDGsと関係性が深いことを学び、和食への関心が深まった。（設問10）

「和食に対するイメージが変わった（24名）」「SDGsとのつながりを知りたいと思った（21名）」「和食を通じてどんなことができるか考えたいと思った（14名）」など和食が“自然への敬意”や“もったいない”などSDGsと関係性が深いことに気付き、更に深く知りたいという意欲に繋がっている。

(6) 和食の授業を通じて、和食を家庭で再確認するきっかけになった。(設問 15・16)
82.4% (28 名) の児童が家族へ和食の授業についての話をした。その中には、「一緒に和食を作った」「和食の話をしてくれた」など家族と改めて和食を楽しむ機会や行動の変化につながっている。

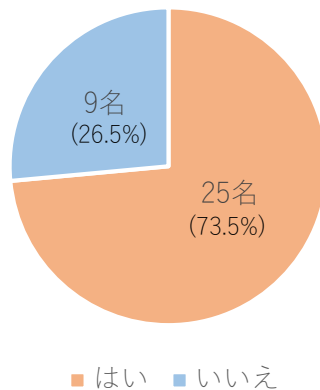
(7) 今後児童が取り組みたい行動は、「和食と SDGs の関係を調べたい」が多数を占める。(設問 17)

67.6%(23 名)の児童が SDGs との関係を調べたいと回答。2 番目は、「住んでいる地域、両親、祖父母の住んでいる地域などの郷土料理を調べたい、食べたい」44.1% (15 名) という結果になり、学習意欲につながっている。

2. 調査結果

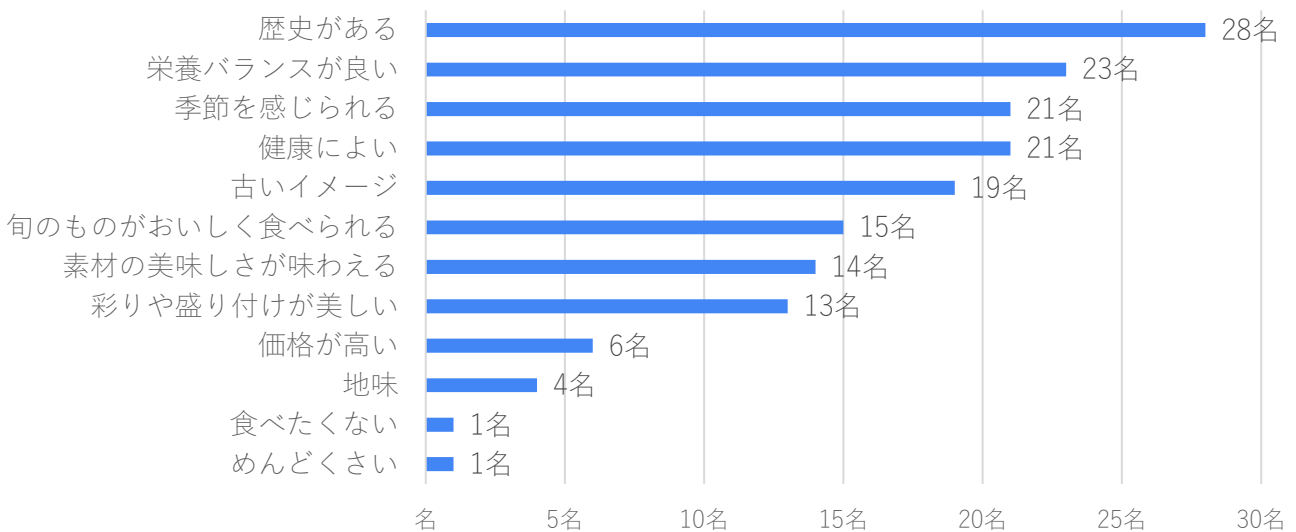
設問 1：あなたにとって「和食」は、身近なものですか。(択一)

図 1 (単一回答 n=34)



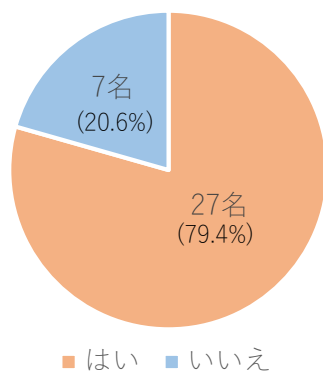
設問 2：モデル授業を受ける前の和食のイメージはどんなものでしたか？(複数回答)

図 2 (複数回答)



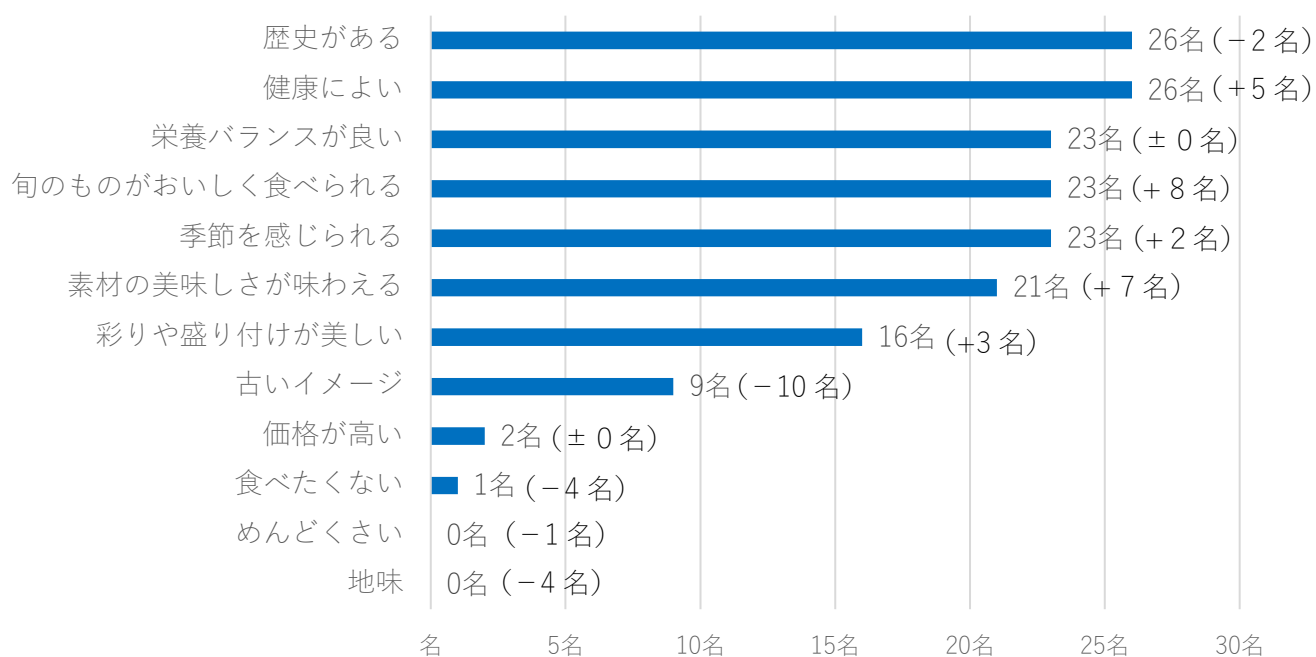
設問3：モデル授業を受けて和食のイメージは変わりましたか。(択一)

図3 (単一回答) n=34



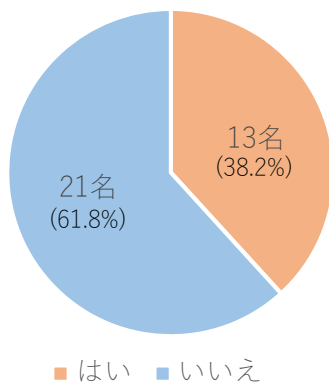
設問4：設問3で「はい」と答えた方、「モデル授業を受けた後の和食のイメージはどんなものでしたか。(複数回答) *()内は、モデル授業を受ける前のイメージからの増減

図3 (複数回答)



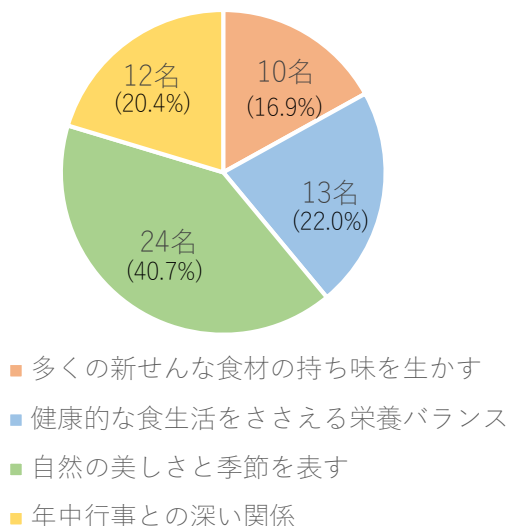
設問5：モデル授業を受ける前から、「和食;日本の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されていることを知っていたり、聞いたことがあったりしましたか。(択一)

図4 (単一回答 n=34)



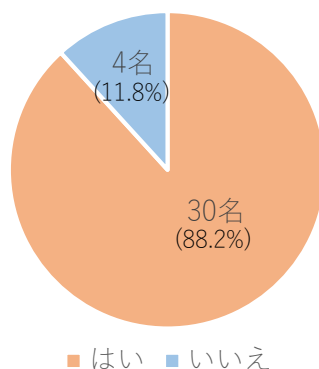
設問6：4つの和食の特徴で学んでみたいものを教えてください。(複数回答)

図5 (複数回答)



設問7：日々の食事で和食をもっと食べたいですか？(択一)

図6 (単一回答 n=34)

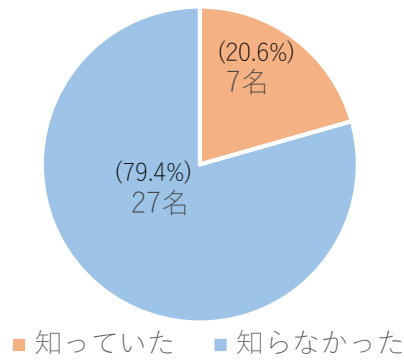


設問8：設問7の理由(自由記述)

- ・授業をして、とても美味しそうにみえたから。
- ・もっと和食の盛り付けの美しさや、季節などを感じてみたいです。
- ・自分の国の食事だし、季節を感じられるから。
- ・和食を食べてもっとイメージを膨らませたいから。
- ・もっと好きになったらすごくいいと思うから。
- ・日本の大切な文化だから。
- ・いつも同じような、似ているものがあるから。
- ・健康に良いし、見た目も素敵で、日本で守らなければいけない食文化だから。
- ・もっと和食に触れて和食のことを詳しく知って食べたいから。
- ・鮭やお味噌汁は体に良いと聞くから。
- ・和食も洋食も沢山の人ののおかげで作られているのが分かったから。
- ・いつも何も考えずに食べていたけど、もっと食べたくなった。
- ・外国の友達がいるので会った時に詳しく教えてあげたくなったから。
- ・前は大人っぽい感じがあって焼き魚があまり好きじゃなかったけど、和食の授業をやって和食は、とても日本人に親しく季節を感じられて、とても美しく飾られているので、私はもっと和食を知って味わいたいです。
- ・おいしいから。
- ・色々歴史がある。

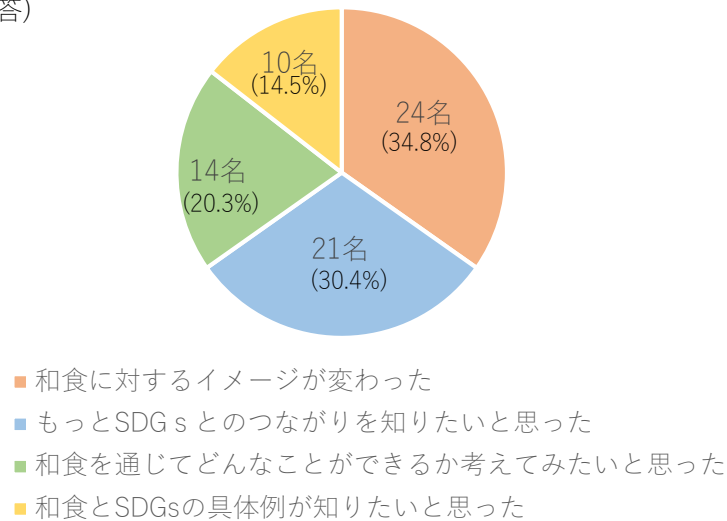
設問9：モデル授業を受ける前、「和食」は、SDG s とつながりがあると知っていましたか？（択一）

図7（単一回答 n=34）



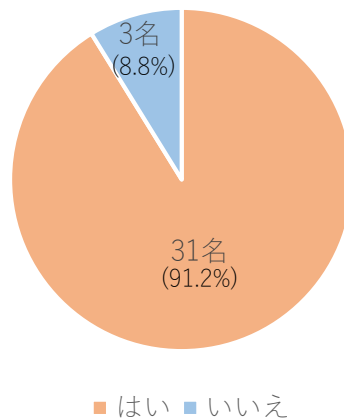
設問10：和食とSDG s につながりがあることを学んで、どんなことを感じましたか？（複数回答）

図8（複数回答）



設問11：和食の授業を今後も続けて欲しいですか。（択一）

図9（単一回答 n=34）



設問12：設問11の理由（自由記述）

「はい」の理由

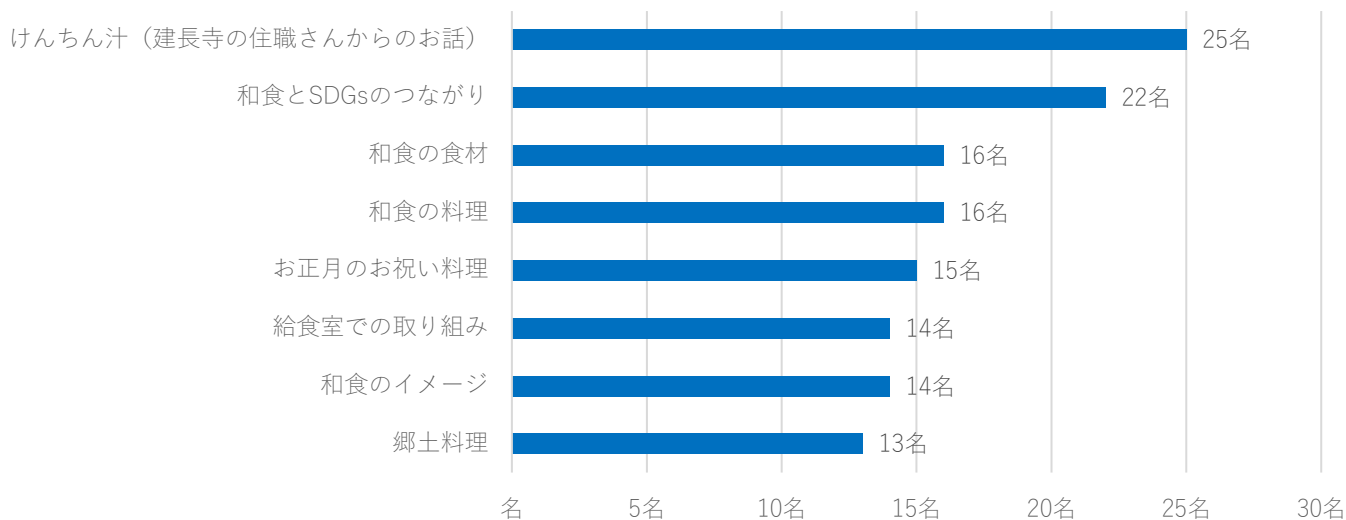
- ・和食のことが、知りたいから。
- ・和食とSDG s の関係について知りたいから。
- ・授業だけで知られたとは言えないし、もっと深いはずだから。
- ・和食は自分の身の回りがあると知って他にもどんな物があるか気になったから。
- ・和食のことをもっと知って、皆にも和食の美しくしさを教えてあげたい。
- ・楽しくて少しためになるから。
- ・面白いし色々なことがわかるから。

「いいえ」の理由

- ・ちょっと面倒くさい。
- ・あまりもっと知りたいと思わなかったから。
- ・だいたい和食のことがわかっているから。

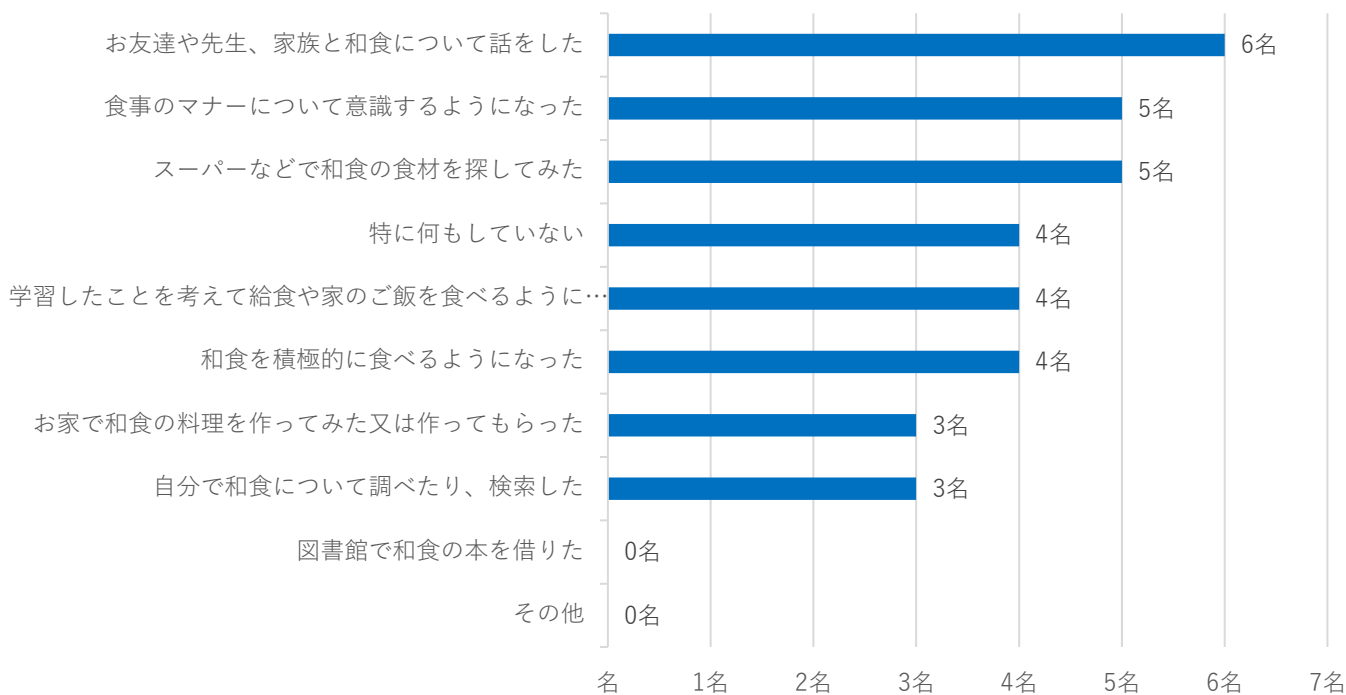
設問 13：今回の和食のモデル授業で印象に残っていることは何ですか？（複数回答）

図 10（複数回答）



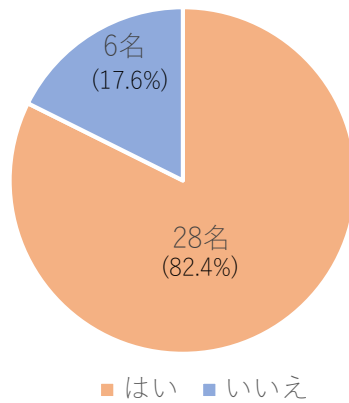
設問 14：和食のモデル授業を受けた後にしたことはありますか？（複数回答）

図 11（複数回答）



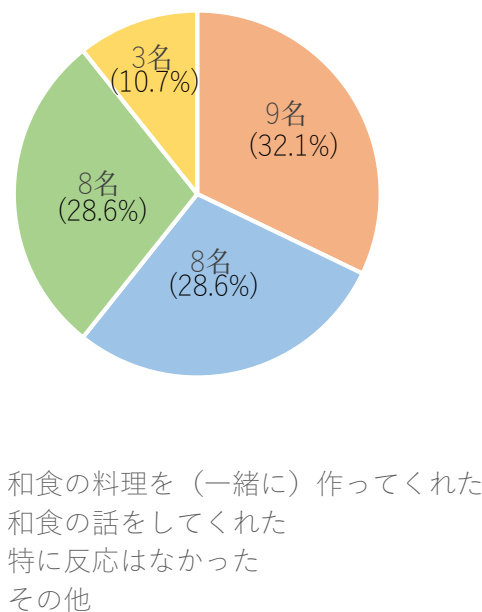
設問 15：今回の和食のモデル授業について、家族と話をしましたか？（択一）

図 12(単一回答 n=34)



設問 16：設問 14 で「はい」と答えた人、家族の反応はどうでしたか？（択一）

図 13(単一回答 n=28)



設問 17：今回のモデル授業を受けて、これから取り組んでみたいことはありますか？（複数回答）

図 14 (複数回答)

